



高校生のボイスリレー

栃木県立黒磯高等学校編



第5弾



私たち高校生が描く
「男女が助け合う社会」について、
2ページに意見が
掲載されています。

仕事も家庭も イキイキと!



三代目で継ぐ長谷川牧場

きょうは
パパが
おむかえだよ。



うれしい!



もくじ

| | |
|--------------------------|---|
| 高校生のボイスリレー | 2 |
| 仕事も家庭もイキイキと! 三代目で継ぐ長谷川牧場 | 3 |
| お知らせ | 4 |

黒高生のアンケート

結果
抜粋



男女が互いに認め合い、助け合う男女共同参画社会を実現するためには、次代を担う若い世代が、関心を持ちその意識を理解することが大切です。

そこで今回は生徒会活動を行っている生徒15名に、お菓子作り体験をしながら男女共同参画について意見をお聞きしました。

男子 女子

いつの時代も性別は関係ないよね



Q1 今、学んでいること・楽しく頑張っていること。

生徒会に入って大人との接し方を学んだと思う。

Q2 職業を選択するとき、何を大切にしますか。

好きなこと・収入・本気で打ちこめる気持ち。



Q3 高校を卒業したら、挑戦してみたいこと・やってみたいこと。

本当に自分がやりたいことを探す。

海外でボランティアをしてみたい。



日本から世界へ！
旅行以外で海外に行く人は減っているんだって…
チャンスを掴むよ



Q4 家庭では、どんな家事分担をしていますか。また家族と一緒に食事をしていますか。

手伝いは気付いた時にやるので分担はないです。食事は塾などが無い時はなるべく一緒に食べるようにしています。

家で母と父がよく一緒に食事を作るので、それが当たり前だと思う。両親の仲が良いので、自分もそうになりたい。



Q5 学校生活では、男女仲良く助け合って生活していますか。

助け合っている！



Q6 「男女共同参画」に対するイメージ。

指摘し合うこともあると思うけど、力を合せて物事をする。

最近は女性も仕事についている人が多く、イクメンなどの言葉もできていますので、男女が協力して社会に出ていると思う。

※イクメン…子育てに積極的に参加する男性

男女で助け合えば、相手の気持ちも理解しやすよね！
生徒が一段と、仲良くなりました。



Q7 今の日本社会の制度や大人の生き方、働き方などに対して感じること。(今の若者と比較して)

国の予算を税金で運用することは必要であるが、いざという時に税金以外の対応を考えておくべきである。そのためにも、経済学が発展が大切だと思う。

窮屈な生活で同じようなことをしているイメージ。楽しそうではない。

仕事も家庭もイキイキと!

～三世代で継ぐ 長谷川牧場～ (青木地区)

今回は、牛乳生産量本州1位の本市で酪農を3世代で営む長谷川さんご家族に仕事や家庭生活についてインタビューしました。



酪農をしてやりがいを感じる時

- 景気や気候に左右されるし、生き物を扱う仕事なので…やりがい…難しい…。



家族円満の秘訣

- 家族みんなで助け合って仕事をする事、子どもたちも積極的にお手伝いをしてくれる。
- 夕食を一緒に食べる事。

仕事と家庭生活を両立させるには…?

- 学校行事等がある時は仕事の時間をずらして夜中の2時・3時に搾乳し、行事に参加するなど、時間の使い方を工夫する。



お互い一番好きなところ (尊敬しているところ)

仕事をとても頑張っているところ

くよくよしないところ



長谷川家の役割分担

- 家族が多いので(8人家族)助け合って役割分担をしている。



次世代に酪農を継いでいきますか

- 息子2人は継ぎたいと言っています!
- 息子に仕事を教えるのが楽しい。



子供たち(剣心くん)から見た両親のいいところは…?

優しい

二人とも仲良しです!

仕事を頑張ってる

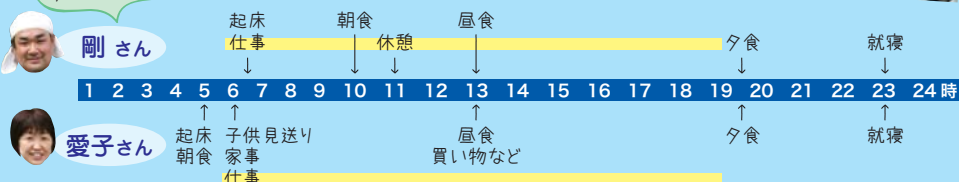


リフレッシュの仕方

- 家族旅行、外食など



一日のタイムスケジュール



家族構成【8人家族】

長谷川 良 清さん(90歳)・アイさん(88歳)
 良 博さん(64歳)・富子さん(63歳)
 剛さん(40歳)・愛子さん(39歳)
 豪輝くん(12歳/中1)・剣心くん(10歳/小5)

お知らせ

6月23日から29日は「男女共同参画週間」です。
H26年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズは
「家事場のパパチカラ」に決定しました。

- あなたの家庭内の役割は何ですか。
- 職場、家庭、地域社会、学校生活で男女ともお互い思いやりを持って生活していますか。
本市では、6月23日～27日まで本庁の入り口で高校生が考える男女共同参画等のパネル展示を行います。
これを機に、日々の生活について考えてみませんか。



左右のイラスト
を見て気づいた
ことを話し合っ
てみましょう



ありがとう・・・



作:miina 絵:daisuke

とちぎ県民のつどい

男女共同参画社会を考える
「とちぎ県民のつどい」を開催します。

- 場 所：とちぎ男女共同参画センター「パルティ」
○午前の部 地域推進団体等による発表
○午後の部 講演会「災害と男女共同参画～3.11に学ぶ～」
講 師：堂本 暁子 氏
(前千葉県知事、男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表)
問い合わせ：栃木県人権・青少年男女参画課
TEL 028(623)3074

とき
6月29日(日)
10:00～
15:00

編集後記

♥誰かのために・・・

社会全般において未だに「男性だから・・・」「女性だから・・・」という古典的な考えがあります。取材中に家族の為に毎日、夕食を作っている男子学生さんがおりました。日々の料理の中でメニューの食材選びや作業の流れに合わせて色々気付き、学ぶことがあるそうです。まさに男子厨房に入らずといった固定概念から離れ、家族の中で助け合っている素晴らしい姿が思い浮かびました。今回の取材を通じて、若い世代から男女が身近な所から共に理解しながら助け合い、差別のない社会を築けることを学べば、きっと素晴らしい世の中になることと思います。



編集委員/阿久津一志 櫻井敬子 平井あけみ 藤原磨衣子 星明美 柳場美枝子
編 集/みいな編集委員会 発 行/那須塩原市企画部市民協働推進課
〒325-8501 栃木県那須塩原市共栄社108番地2 TEL:0287-62-7019
Mail:kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp